令和３年度　第１回学校評議員会　校長挨拶

みなさま、改めましてこんにちは。私は、本校校長2年目となりました田村　嘉則と申します。この度は、本校の学校評議員をお受けしていただいき、本日、お忙しいところ本校にお越しいただきましたことに感謝を申し上げます。ありがとうございます。校長と申しましたが、日々、様々ことを判断する立場で、悩みながら毎日を送っておりますので、本日は忌憚のないご意見を存分に頂戴できればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、学校評議員について簡単に説明をさせていただきますと、学校評議員制度は、地域社会に開かれた学校づくりを一層推進していくため、保護者の代表の方や地域でご活躍の住民の方々、教職経験のある先輩や有識者などがその構成員となり、地域の思いや願いに即した特色ある学校教育を実施するために相互の意思疎通や協力関係を高めるために設けられた組織でございます。各学校ごとに概ね、5名前後の評議員を置いている現状がございます。後ほど簡単に説明させていただきますが、ここ１、２年のうちに学校評議員制度を見直し、さらに学校と地域が連携協力することを狙った学校運営協議会制度、通称コミュニティースクールといいます制度に移行していきます。その折には、またお力をお貸しいただければ幸甚でございますので、よろしくお願いいたします。

さて、本年度の飯沼中学校でございますが、昨年度は休校から始まったわけでございましたが、今年度はスタートから、新型コロナウイルスの感染には十分注意をしながらも教育活動を少しでも前に進めるという方針で、スタートを切りました。4月8日の始業式、入学式ですが、始業式は、新２，３年生を校庭に集めて行いました。その後の入学式は、体育館で、新入生と保護者は家庭から1名、来賓はなしという形で実施いたしました。5月には、昨年度できなかった体育祭を実施いたしました。実施にあたりましては、内容を1から見直し、午前中のみの開催、保護者は家庭から1名、来賓はなし、種目は感染防止を考慮した内容で行いました。それでも生徒達は生き生きと力強く体育祭に臨み、そして笑顔で終えることができました。6月には、同じく昨年度中止になった、3年生の運動部の最後の大会である学校総合スポーツ大会が行われました。運営も感染防止に努め、保護者1名、各学校で昼食をはさまずに行えるよう試合日程を組むなどの工夫を凝らした大会運営でした。この後の大きな行事は、本日の資料にもありますが9月15日からの修学旅行、同じく9月には部活動の新人戦、10月には合唱祭、1月には2年生のスキー教室が控えておりますが、社会情勢がどうなっているかまだまだ分からない状況でございますので、適宜判断をしてまいります。ご意見を頂戴することもあろうかと存じますがその際には、忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。

　次に本校の教育活動における諸課題についてお話しさせていただきますと、大きく３つあります。1つ目が学力の向上でございます。本校の生徒は現在、生徒指導上の問題を起こす生徒もほとんどいなく、落ち着いた授業をどのクラスでも行えています。従いまして、教師の授業力の向上とそれに伴う授業の質の向上を図り、生徒の学力を向上させたいと考えております。研修主任に銘じて、全学年全教科共通の授業の形を作り、それを意識した授業の実践を行うとともに、授業外でも家庭学習の啓発、スペリングコンテストや漢字コンテスト、計算力コンテストなども計画的に実施し、基礎学力の定着に力を入れているところでございます。2つ目の課題は、教育相談です。本校の生徒は、学校規模に対して、不登校になる生徒や相談室登校をしている生徒の割合が高い傾向があります。各学年、各学級の経営についてベテラン教師がアドバイスをし、管理職も連日、積極的に授業を訪問するように努め、学年、学級に居がいのある学校生活を作るよう指導しております。3つ目は、人財の育成です。本校の職員は、年齢構成の二極化が進み、半数以上の教員が10年未満のキャリアしかない状況でございます。そこで、管理職をも含めたベテラン勢が経験から身に付けてきた教育技術の継承を図るよう職員へ指導をしております。

最後にこの後、授業を見学していただき、その後再度この場に戻り、授業、その他、忌憚のないご意見を頂戴できたらと考えております。あいにく本日は２、３年生が学力テストを実施しておりますので、1年生を中心に授業をご覧いただきます。合わせて、今年度から始まる、生徒一人一台のタブレット型パソコンを使った学校教育である、通称ギガスクールの様子もご覧いただければと思います。

それでは、本日は、短い時間ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

　　令和3年6月18日　春日部市立飯沼中学校長